

東京オリンピック開幕1年前 感染対策を講じた上で合同清掃活動を実施

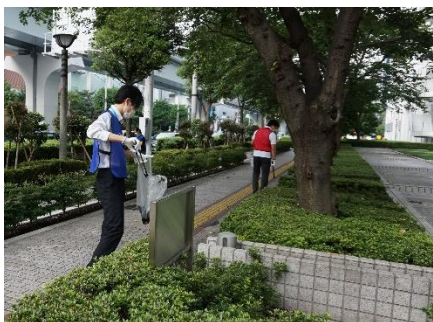
依然、収束の兆しを見せない新型コロナウイルスの感染拡大。夢の祭典東京2020大会が、1年後に無事開催されることを願って、7月22日午後、台場エリアの合同清掃活動を行いました。



この活動は、フジ・メディア・ホールディングスが 2008 年から実施しているもので、昨年「東京2020 参画プログラム」に認証されました。

今回は、新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐため、事前にエフシージー総合研究所の川上裕司研究員のアドバイスを頂き、①集団ではなく一人で清掃する ②必ず軍手を着用 ③ゴミを拾う際にはトングを使うなどの対策を徹底し、通常より時間を短縮して約 30 分間実施しました。

曇り空の下、フジ・メディア・ホールディングス各社から集まった40人が精力的に海辺や道路脇などを清掃し、70リットルの袋8個分のゴミと傘7本を回収、街がスツキリときれいになりました。



来年の夏、安全な環境で、アスリート達の熱い戦いが繰り広げられることを期待したいものです。